

会報

京都マイコン研究会

第 84 号

(通算101号)

1994年7月1日 発行

発行人 圓口佳昭

トピックス or ニュース

編集部 増田

中辻さん、鍵田さん、そして、合宿でデビューの若井さんのマシン、とWindows環境を実現され、また、若林さんまでもが計画中とか、DOSからWindowsへ皆さんの遊び道具が増え続ける一方で出費も比例する、なんてたまたま、まだ検証もしていないのに年に一回バージョンアップするソフトが多いのである。もう～たまらんの世界ですよ。

第22回パーソナルコンピュータ利用技術認定試験が例年通り実施されます。皆さん御協力下さい。委細は7月2日例会にて発表いたします。

第22回
パーソナルコンピュータ
利用技術認定試験
平成6年7月17日(日) 実施

例会報告 !!

6月4日 (pm.6:30)

大山崎ふるさとセンター

参加者氏名 圓口、岩井、若林、加藤、上田、
溝口、中西洋、河原、鍵田、増田、
松田、安田、大塚、仁賀、

14名

6:30 マイコンサロン

7:30 新規部会と研究会の発足

8:30 各部会への参加登録

次回例会

日時 7月2日(土) pm.6:30

場所 大山崎ふるさとセンター

内容 合宿研究発表とセミナー



夏期合宿

中西秀行

私にとってはほぼ唯一、本会への例会参加となる合宿です。毎回本当に楽しみにしております。(いつも時間に遅れて申し訳ありません。) いつもお世話いただいている方には、お礼の言葉もございませんが、この場を借りてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

CD-ROMのお話は時間に遅れて来ました(スイマセン) のでお聞きすることができませんでした。残念!

しかし、CD-ROM自体は最近がまんでなくなり、それを買ってしまいました。(ホント衝動買いが多いんだから全く!) 又、私の睡眠時間を奪うものが戦列に加わり、ますます昼にぼんやりしてしまいそう、でもおもしろいソフトがあれば紹介お願いします。

Visual Basic の講習は増田さんの力作テキストが光っていましたネ、とにかくやってみる、体験を最優先するスタイルは、贅沢にパソコンが使用できる強みです。(会場に大事な機器を持ってきていただいている方々にはいつもお世話になります。)

触れて! 見て! 創造する! とりあえず完成した作品は大きな飛躍の第1ステップ、次に新しい欲求が、それを見る事で頭をもたげてくるのではないのでしょうか、具体的な作品の持つ大きな力です。(中辻さんお疲れさまでした。)

圓口さんの作品は、小さなボタン、大きな笑い、そして、私には原稿が大当たり、という訳で、この文を書いています。作文嫌いの私にもお鉢が回ってきたという落ちがつきました。「ヨーシ今度は Visual Basic をマスターして、目に物を見せてやるんだ!」

失礼しました。お後がよろしいようで、次回の合宿はまだかな～。

1994年度 専門部会名とメンバ・リスト

専門部会名	部長	参加氏名
DOSビギナーズ	河原	加藤・若林・小寺・松田・大塚・仁賀 安田
Visual Basic 一聞十知	増田	岩井・河原・中辻・松田
デスクトップスプリッシング DTP/スロフェッショナル	増田	加藤・若林・溝口・上田・中辻・松田 仁賀
Works	圓口	鍵田・大塚・仁賀
Access	岩井	加藤・若林・中西(洋)・鍵田・増田

部会への登録は各部長までご連絡下さい。

関西テレビ・マイコンクラブ参加の合同合宿の見聞録

(編集部 河原)

6月18日～19日に開かれた合宿の一部をお伝えしよう。今回の最大の行事は、増田会員(編集担当)の熱心な指導のもとに、「Visual Basic」の実演演習であった。

今回、デスクトップではPC/IBM互換機が、日電PC98シリーズ機を追い落とす位の数を含め、どのマシンもMS-Windowsが搭載されて、すべてのマシンで「Visual Basic」の実習が行えた。今回のテキストの解説は、書籍やマニュアルに負けないくらい中身が充実したものであった。各人、かなりの成果を得たものと思われる。

その他の行事は、臨時の役員会や本年度の総会が開かれて、会計報告や今年度の各専門部会活動計画の承認など決議が行われた。詳しい内容が知りたい方は、事務局へ問い合わせのこと。

連載 「パソコンとMS-DOS 初心者入門」

第2回(Tomopy)

大形であろう、小型であろう、どの演算装置（コンピュータのCPUチップやRAM、ROMで構成している）にもOSが搭載されて、外部装置（キーボード、CRTモニタ、プリンタ、フロッピ装置などを指す）との間の指令やデータを受けたり出したりするために必要なプログラムで、その集合体をOSと呼ばれている。

このOSがなぜ必要かと言えば、演算装置にどの外部装置が接続されているか、また、指令に対応する待機状態か、さらに、データの入出力時に障害が生じていないかなど、コントロールするプログラムである。その上に、それぞれの外部装置の機能や特性に応じたプログラムが作られている。コンピュータの中の演算装置に使われるCPUは、コンピュータを製作するメーカーが勝手に、インテル系、モトローラ系などを採用しており、同じCPUを採用していても製作するメーカーの事業所が異なれば、周辺の外部装置用のコントローラ用のIC（半導体集積素子）の種類が違い、当然、OSの内容も異なるのである。

それでは、現在のパソコンは、何故、MS-DOSが多く使われるようになったのであろう。それは、マイクロソフト社の戦略が成功したのである。その端緒は、米国IBMがパソコンを製作した際、OSの製作にマイクロソフト社と組んだことによるのです。これが成功したことから、日電も自社のOSを捨ててMS-DOSの採用をしたのである。でも、採用した当初は全面的に切り替えたのでは無く、アプリケーションを製作するソフトウェア各社にもOSを使うことをマイクロソフト社が認めていたのである。その普及に拍車を掛けたのが、ワープロ「一太郎」の発売であった。その後、国内のパソコンメーカー各社ともMS-DOSを採用するようになった。

ところが、普及してMS-DOSが寡占状態になった頃を見計らって国内のソフトウェア各社に対してマイクロソフト社は、OSをユーザーへの無償配布を禁じたのである。国内では、これに対抗、または、互換OSが存在しなかった。マイクロソフト社は米国では、どんな戦略をしたのか、調査していませんが、これに対抗して、IBM社コンピュータに使えるDR-DOSが売られて成功した。遂に日本語圏内では、MS-DOSに対抗するOSは生まれなかった。

MS-DOSが普及した説明の前置きが長くなったが、MS-DOSの説明書を読むと、内部コマンドと外部コマンドの二つの説明がある。初めてOSに触れる方にとってにはチンプンカンプで、ここで混乱してしまう。二つともコマンドの説明が必要なのは、次の理由である。

1. コンピュータを起動すると、必要なプログラムをメモリへ与える。（この動作をロードと言う） そのとき、内部コマンドと外部コマンドと呼ばれるプログラムのすべてをロードすると、我々が使う実際のプログラムを追加するとき、メモリへロードするとメモリに収まらなくなる。そのために、OSは最小限のプログラムをメモリへロードして使うことになる。

2. 我々が使うプログラムをロードするメモリ容量が大きく確保されると、ユーザインタフェースの良いプログラムを使用することができる。

今回は、OSとはどんな物か、何故、必要なのか、パソコンのOSは各社何故、共通でないのかを説明した。次回は、内部、外部コマンドについて紹介する。

合宿教材より

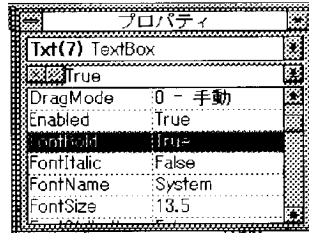
Textbox - Proprty

テキストボックス プロパティ

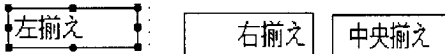
テキストボックスにおいて使用出来るプロパティの設定方法と各機能の説明。(各項目はプロパティボックスと説明がワンセットです。)
 フォームのCaptionを”テキストボックスについて”と入力して下さい。



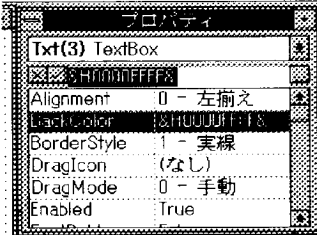
BorderStyle
 ボックスエリアの輪郭スタイルを決める。



太字
 表示文字を太くする。



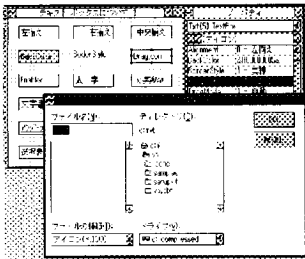
左揃え **右揃え** **中央揃え**
 サイズハンドルで決定した幅内に表示する文字の位置を決める。



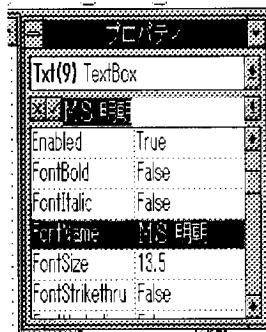
ボックス
 ボックス内のバックカラーを変更する。



Enabled
 表示文字に対して無反応にし表示濃度をダウンして表示する。



DragIcon
 ドラッグアイコンをクリックすれば、ファイルボックス



文字書体
 文字の字体を変える。

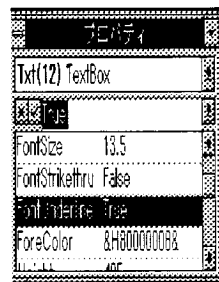


文字サイズ
 文字のサイズを変更する。

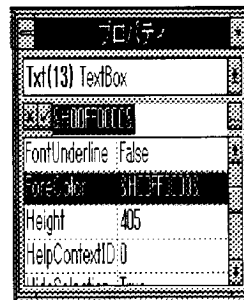
が開きボックスに対するアイコンを選択し設定する。



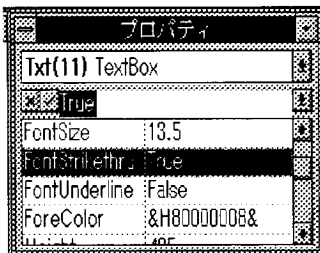
文字斜体
 文字を30度の斜めに表示する。



アンダーライン
 文字(横組みは下・縦組みは左)に添って線が引かれる。



ForeColor
 文字の色を変える。



打ち消し線
 文字のセンターに文字組みの方向に添って線が引かれる。



文字を入力
 テキストボックス内の入力文字数を限定する。

左揃え サイズハンドルご存知ですか。
 ハンドル(小さな四角い黒い点)をマウスでドラッグすれば自由にサイズを変更出来る。Windowsに付きものの道具の1つです。

いわ い ひろ やす
岩井宏安

私の趣味

無線・車・競馬・パソコンと次々、趣味のレパートリーが増え、今年の2冊からは散歩も加わり、毎週土曜日が日曜日は天王山へ、月に一度はKTV歩こう会へ参加している今日この頃です。

無線 [FT-736 (八重洲)・IC-760 (井上)・TR-941S (KENWOOD)]

学生時代にアマチュア無線に趣味を持ち、JH3AZEのコールサインで3.5MHz-12.00MHzオールバンド・オールモード・RBBSのQSOも時々しています。

JAZYXD (関西テレビアマチュア無線クラブ) のもとで年1、2度の移動運用も「ホビー」として現在も続いています。京都マイコン研究会メンバーの方開局しませんか?

車 [バジェロ]

2台目のバジェロで合計1年間乗っています。KTV-4X4CLUBに加入して、年に3、4度アウトドアスポーツとして楽しんでいます。FMのトランスミッターを搭載し144MHz、435MHz、1200MHzバンドでの交信は可能です。

競馬・パソコン

これは年間80冊のパソコン予想をほとんど欠かさず10年以上続けています。パソコンによる株式チャートは2年ほどで挫折しましたが新聞だけは保存していますので誰か助けてくれませんか。

今世紀最大の玩具であると言われているパソコンですが、もはや玩具とはいえず、マルチメディアが市民権を得る21世紀には人類必須のハンドブックとなると信じています。そのパソコンに興味を持ちだして甲いもので、もう15年ほどになりますが一番初めに目にしたのはヒューレットパッカード社から発売していた、1cm×5cmぐらいの樹脂体の帯にプログラムを記憶させる電卓の様なもので、2.5万円もする高価なやつで手も、足も、首もです目だけが飛び出すびっくりするものでした。

次に、目にしたのはNECの10万円のワンボード・コンピュータTK-80で私の知識では、乗りこなすことは難しいと思い横目で見送りましたが、いま思えばマシン語をマスターできる最良の機会を逃したのではないかと悔やまれるのが残念です。

しばらくして米国製のPET、アップル、タンザイ等8ビットマイコンが続々と発売されましたが50万円以上の代物で、涙と涙のため息だけが出るのみで悔しい思いをしているとき、シャープからMZ80K、NECからPC8001が発売になりました。

迷いに迷ったあけく、テープとディスプレイが一体になったMZ80Kを選び購入いたしました。PC8001を買った人はラジカセのテープを利用してデータを保存していたのでオートゲインコントロールが良くて、てこずっている話しをよく聞きましたか私にはその様なことがなく、私の選択眼は間違っていたとはなかつたと満足していました。

マイコンで何をやるのか、何ができるのかと、迷っている時代でしたが、私は競馬の予想プログラムを作るのだと決めていた為、なんの躊躇もなくシャープのベーシックにとりかかりました。1年ほどでできたのですが、満足できるものには程遠くMZ80M・MZ80B・MZ6500と次々にハードのレベルアップを行いました。1979年には雑誌のマイコンに自作

の競馬予想プログラム”BIG・PHONE”を発表いたしました。

この間NECは、PC8801・PC9801と発売していましたが、なぜNECが競走得きたのか私にはわかりませんが、PC98UV2 (OS:5時フロッピードライブ) が発売されるのを待って、体制の流石に驚かされました。MZ6500 (OS:CP/M8.6) PC98UV2 (OS:MS-DOS) と移り変わるたびに”BIG・PHONE”も”SUGAR・FOOT”と改名しバージョン・アップをして移植しました。

NEC戦略でしょうか、PC98も次から次へと新製品が発売されましたが、CPUが大きく変化したときをめぐり、ハードのシステムをバージョンアップしているのですが、ペンティアムの次に何がくるのか、OSが[WINDOWS4.0] [OS/2Ver2.0] [TORN] なのか、DOS/V互換マシンなのか、戦国時代の真つ只中としかいえないようなない迷路に突入したと思っています。

1994.6.10の時点で私のシステムは、PC9821Af、HDD500M、メモリー16M、CD-ROM、MO、3.5時フロッピー増設、WINDOWS3.11 Ver.3、EXCEL 5.0、ACCESS、VC++、WORDなどの環境です。

これらのアプリケーションをリンクさせ、WINSF (WINDOWS SUGAR FOOT) を構築する作業をこなしている最中です。皆さん一緒に言語の利用方法、アプリケーションの使い方など勉強させていただいて、無畏の方法を見つけたいと思っています。

夢

人類は音速の数倍のスピードで移動できるようになりました。一定のスピードで長時間加速できるようになれば、いずれ光速を越えることができ、未来へも過去へも自由に旅することが可能になると信じて・・・

今、欲しい物

室内装飾に風水(中国の古い)で使っていた羅盤



1994/ 6
18~19

夏 期 合 宿

(株)関西テレビ放送

「蓬萊山の家」

参加者 圓口・中西秀・若林・若井・岩井・中西洋・河原・上田・中辻・増田
関西テレビマイコンクラブの皆さん

報告

6月18日(土)

14:30 蓬萊山の家到着

15:00 1993年度 総会開催

会計報告および監査報告 承認

新役員承認 会計 中辻 氏

MS-WORKS 部会 圓口

MS-ACCESS 部会 岩井

DOSピキナーズ 部会 河原

VB一蘭十知 部会 増田

DTPプロフェッショナル 部会 増田

社団法人パーソナルコンピュータユーザー利用技術協会

会長 大野氏 新年所感確認(リテラシ1994・1より)

16:00 CD-ROM装置について 講師 河原 氏

CD-ROMの特長

CD-ROMの規格

CDメディアの規格

CDの読み取り原理

データ転送高速化

トレイ方式の比較

CD-ROMの将来

CD-ROM装置の導入知識

18:00 入浴

19:00 食事

21:00 Visual Basic 夜間講座開催 講師 増田

「一を聞いて十を知る」講座開講

プログラムを創ろう朝までに

明日には楽しい

プレゼンティションがまっている

6月19日(日)

0:00 全員 VB講座 真っ最中。

1:00 上に同じ。

2:00 年寄り2~3人ダウン。

3:00 圓口会長なにやらゴツゴツ奮闘中?
残り3~4人がゴソゴソ。

7:00 まだ講師一人が仕事を徹夜で作成中。ボツリ
ボツリと年寄り軽快。

8:00 講師、仕事を未完成。

8:30 食事。

9:00 講師、ついに仕事未完成のまま、

実にすがすがしい講座が終了した。

9:30 Windows環境下でのソフト作り

夜間講座により作成されたプログラムの発表とプレゼンティションを実施。

中辻さんは自分の情報を発表するソフトを完成。会長が夜中ゴソゴソしていたら、データーとスベコイ人生の先を読んだ未来を予言する。古いソフトを完成してはならないか?(講師曰く徹夜でヤツヤ甲斐があった。自分の仕事を?)

10:30 食後の整理、パソコンの撤収、夏期合宿の終了。(毎回蓬萊山の家でお世話になっている方々ありがとうございました。)さようなら。

若井さんのMO...
ピクチャーでイメージを呼び画面から飛び出さず。
ほしいほしいCD-ROM毎晩楽しい。
若井さんのMO...
みなCD-ROM買えな...
楽しいぞ...
合宿員をビデオで取りMOで...?
会社辞めて古い師に???

「一を演ずれば、皆さんなかなかやるではないか。今まで十以上教えたからだめだったのかな? オオ! 隣では、グリッドをやっている。早すぎる...

上田さんグリグリ解かったかな?
忙しい仕事がい!
?チー。
ふむふむ。
これでバッチリ!
痛ってからするぞ!
おニューにしてから遊ぶか!
全体がイマイチ見えない。
圓口
嵐山か?

中西洋 上田 中辻 若井 若林 岩井 圓口